

2024 年度シオン園保育所事業計画

1 施設の基本理念

「謙遜・献身・愛」（創立者 モード・パウラスのことばより）を柱に、子ども一人ひとりを大切に、保護者から信頼され、地域に愛される保育園を目指すことを保育理念とする。

2 2023 年度の主な取り組み

(1) 経営改善の取り組み

- ・ 2022 年度の大幅赤字を受けて法人本部と共に収支改善に向けた話し合いを進めていった。7 月には法人事務局により職員に対して、自園の現状（収支）課題について説明を受け、業務改善に向けての話し合いを職員間で丁寧に行った。
- ・ 法人内の 3 保育所の経営状況（10 年間の経営の推移をデータ分析して収入面、支出面の要因）について話し合い意見交換した。
- ・ 物価高騰の為の補助金を荒尾市から受けることが出来た。
- ・ 少子化による定員見直しに向けた協議を市や市議会と行った。

(2) 職員の資質向上のための取り組み

- ・ 法人内研修（社会的養護、アンガーマネジメント、清重先生）、るうてる法人会連合研修、キャリアアップ研修など様々な研修に参加して学びの時を持った。

(3) 新型コロナウイルス感染症 5 類後の取り組み

- ・ 新型コロナウイルス感染症が 5 類になったのちも基本的な感染予防対策を行うとともに、園内の感染状況について保護者へ情報提供をし、感染後の待機期間も周知し守るようにしていった。
- ・ 分散化していた園の行事は、コロナ禍前のように集合して行ったり、人数の制限なしに行うことで、保護者の参加機会が増え保育・教育の内容を具体的に伝え、子どもの成長をともに喜ぶことが出来た。

3 2024 年度の実行方針

(1) 事業の運営に関する方針

- ① 保育の充実を図り子育てニーズに対応していく。
- ② 職場環境の改善と効率化を図る。
- ③ シオン園保育所学童クラブの開設。

<目標>

- ・ 児童クラブを開設することにより地域貢献を図る（方針(1)①、(1)③関係）。
- ・ 保護者との信頼性を深め、悩みや子どもの特性について相談に応じる（方針(1)①関係）。
- ・ 年間の時間外勤務時間を前年度比で 2 割削減する（方針(1)②関係）。

(2) 組織の管理運営に関する方針

- ①働きやすい職場づくりや職員の風土改善。
- ②職員（保育）の質の向上とチーム力の強化。

<目標>

- ・理念や方針を、実践を通して体現できる人材の育成（方針(2)①、(2)②関係）。
- ・協働的な組織づくりや保育環境の充実（方針(2)①、(2)②関係）。
- ・年10日以上の子休を取得する職員の割合を60%以上にする。（方針(2)①、(2)②関係）。

(3) 経営（財務基盤強化、利用者確保など）に関する方針

- ①収支のバランスのとれた経営の安定化。
- ②シオン園保育所学童クラブの開設（再掲）。
- ③定員の充足率を考えながら、定員減の要望を訴え続けていく。
- ④歳出抑制を行う。

<目標>

- ・経費の節約と計画的な支出を心掛ける（方針(3)①、(3)④関係）。
- ・こまめな消灯、節水、用紙節約など地道な取り組み（方針(3)④関係）。
- ・学童クラブを行うことで十分な委託費収入を見込む（方針(3)②関係）。
- ・年度途中の入所希望に対応できるように職員の確保をする（方針(3)③関係）。

(4) 重要な施設整備や機器導入等に関する方針

環境改善や安全性向上等のために優先順位をつけながら整備を行う。

<目標>

- ・早急な対応が必要な場所の整備をする（方針(4)関係）。

(5) 地域貢献・地域交流を図る

シオン園保育所学童クラブの開設（再掲）。

<目標>

- ・2024年4月からの新規事業で、運営の安定と人員の確保を行う（方針(5)関係）。

4 2024年度の具体的な取組

(1) 保育の充実を図り子育てニーズに対応していく（方針(1)①、(1)③関係）

- 園の保育方針を理解周知してもらい、保護者と一緒に子育てしていく（年間通して）。
- 多忙や様々な困難を抱える保護者に寄り添い相談にのり支援する（年間）。
- 発達障害、育児不安など家庭は丁寧に関わりながら関係機関と連携し支援し

ていく（年間）。

- ブログやメールで、園児の生活や活動の様子を保護者へ発信する（都度）。

(2) 働きやすい職場づくり・職員の風土改善（方針(1)②、(2)①、(2)②関係）

- キリスト教保育の充実のために聖書研究の機会を持つ（年に6回）。
- クラス内の周知はもとより、0,1,2歳児（未満児）・3,4,5歳児（以上児）の話し合いの時間を持つ（月に1回）。
- 職員が定着出来るような人間関係をつくっていく（年間）。
- 謙遜と思いやりのある言動で相手に接する（年間）。
- 休憩時間の確保、ノン・コンタクトタイムの確保による教材研究や事務仕事の時間を調整する（年間）。

(3) 職員の質の向上とチーム力強化（方針(1)②、(2)①、(2)②関係）

- 年度始めには原点に立ち返り、社会福祉法人慈愛園の職員であることを心にとめ、園の理念や方針を共通理解したうえで一人ひとりが自覚を持って業務を行う（年間）。
- 前年度の自己評価をふまえて、自分なりの目標を設定し、手順や方法を考えながらステップアップを図る（年間）。
- 園の経営状況についても周知してもらい、チームの一員であることを自覚し自分に与えられた役割を果たす（年間）。
- リーダーに求められる言動と説明責任を果たし、より良いクラス運営ができるようなフォロー体制をつくるためリーダーミーティングを実施する（都度実施）。

(4) 保育所3園による研修や交流の機会をもつ（方針(2)①、(2)②関係）

- 法人内3保育所で交流を深め、研修や情報交換の機会を階層別（園長主任、ベテラン、中堅、若手）に行う（3園と協議を行い開催時期を決める）。
- 他の園に見学に行き、実践を分かち合いながら自園の保育に活かす（都度）。

(5) 地域、関係機関との連携を図る（方針(1)①、(1)③、(5)関係）

- 学童保育を行うことで小学校とのより綿密な連携を取り合いながら進めていく（年間）。
- 地域の活動に積極的に参加する（都度）。
- 保育士養成校や看護学生の保育実習、中学校・高校の職場体験を受け入れる（都度）。

(6) 経営の安定化を図る（方針(3)①、(3)②③④関係）

- 職員の配置を見直ししながら、人件費を削減していく（年間）。
- 新規事業として2024年4月よりシオン園保育所学童クラブくるみの実を開設することにより収入の増を目指す（年間）。
- 荒尾市の出生数を見極め将来的な見通しを要望し続ける（年間）。
- 補助金申請や経費の節約をする（年間）。

(7) 施設整備や環境改善を行う（方針(4)関係）。

- 外壁塗装の剥離の為に塗り替え工事（早急に対応）。
- 樹木の伐採や枝打ちを行う（早急に対応）。
- 敷地内に設置してある看板の新設をする（早急に対応）
- エレベーターの不具合が出ているので修理が必要（早急に対応）。